

# 四半期報告書

(第41期第2四半期)

自 平成25年7月1日

至 平成25年9月30日

株式会社 **クロスキャット**

東京都品川区東品川一丁目2番5号

本書は、EDINET (Electronic Disclosure for Investor's Network) システムを利用してHTML形式で金融庁に提出した第2四半期報告書をPDF形式で作成したものです。

(E05291)

# 目 次

頁

表 紙

## 第一部 企業情報

### 第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移 .....	1
2 事業の内容 .....	2

### 第2 事業の状況

1 事業等のリスク .....	3
2 経営上の重要な契約等 .....	3
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 .....	3

### 第3 提出会社の状況

#### 1 株式等の状況

(1) 株式の総数等 .....	5
(2) 新株予約権等の状況 .....	5
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 .....	5
(4) ライツプランの内容 .....	5
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移 .....	5
(6) 大株主の状況 .....	6
(7) 議決権の状況 .....	6

2 役員の状況 .....	7
---------------	---

### 第4 経理の状況 .....

8
---

#### 1 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表 .....	9
(2) 四半期損益計算書 .....	11
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	12

2 その他 .....	15
-------------	----

## 第二部 提出会社の保証会社等の情報 .....

16
----

[四半期レビュー報告書]

[確認書]

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年11月12日

**【四半期会計期間】** 第41期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

**【会社名】** 株式会社クロスキャット

**【英訳名】** CROSS CAT CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 井上 貴 功

**【本店の所在の場所】** 東京都品川区東品川一丁目2番5号

**【電話番号】** 03(3474)5251

**【事務連絡者氏名】** 取締役 三 嶋 峰 雄

**【最寄りの連絡場所】** 東京都品川区東品川一丁目2番5号

**【電話番号】** 03(3474)5251

**【事務連絡者氏名】** 取締役 三 嶋 峰 雄

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第40期 第2四半期累計期間	第41期 第2四半期累計期間	第40期
	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	3,527,079	4,009,374	7,768,203
経常利益 (千円)	150,057	67,050	315,248
四半期(当期)純利益 (千円)	77,762	33,579	184,148
持分法を適用した場合の 投資利益 (千円)	—	—	—
資本金 (千円)	459,237	459,237	459,237
発行済株式総数 (株)	9,210,960	9,210,960	9,210,960
純資産額 (千円)	1,736,691	1,750,568	1,802,853
総資産額 (千円)	3,462,509	3,598,256	3,754,087
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	8.78	3.90	20.85
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
1株当たり配当額 (円)	—	—	10.00
自己資本比率 (%)	50.2	48.7	48.0
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	491,337	205,206	173,675
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△18,395	△54,486	△28,998
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	△100,885	13,642	△155,833
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	807,334	588,484	424,122

回次 会計期間	第40期 第2四半期会計期間	第41期 第2四半期会計期間
	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	9.04	10.67

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 持分法を適用した場合の投資利益については、持分法を適用すべき関連会社がないため記載しておりません。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。  
また、関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期累計期間における我が国経済は、政府による経済政策や金融緩和策により円高が修正され株価も回復し、景気回復への期待感が高まってまいりましたが、情報サービス業界においては、情報化投資費用の抑制傾向により厳しい事業環境が続いております。

このような状況の中、当社は、業容の拡大と業績の確保を目指し、新規顧客の開拓と戦略領域の強化及びビジネス拡大・強化を展開した結果、クレジット、金融系の銀行及び官公庁が牽引したことにより、売上高は4,009百万円（前年同期比13.7%増）と増加したものの、保険及びクレジットの一部で赤字が発生したことにより営業利益50百万円（前年同期比65.0%減）、経常利益67百万円（前年同期比55.3%減）、四半期純利益33百万円（前年同期比56.8%減）となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前事業年度末と比較して164百万円増加し、588百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、205百万円（前年同期比58.2%減）となりました。これは主に、税引前四半期純利益66百万円、売上債権の減少469百万円等による資金の増加があったことに対し、仕入債務の減少126百万円、たな卸資産の増加122百万円、法人税等の支払58百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、54百万円（前年同期比196.2%増）となりました。これは主に、パソコン等の開発設備等の有形固定資産の取得による支出5百万円、ソフトウェア等の無形固定資産の取得による支出16百万円、投資有価証券の取得による支出32百万円等があったことによるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、13百万円（前年同期は使用した資金100百万円）となりました。これは主に、短期借入金の増加100百万円による資金の増加があったことに対し、配当金の支払86百万円による資金の減少があったことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当社の当第2四半期累計期間における研究開発費は、4百万円となっております。

中堅企業向け予算管理テンプレート「CC-Budget Runner」（シーシーバジェットランナー）を拡張し、中小企業向けにクラウド上で動作可能となる研究を進めております。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### ① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	35,800,000
計	35,800,000

###### ② 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,210,960	9,210,960	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	9,210,960	9,210,960	—	—

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	—	9,210,960	—	459,237	—	61,191



## (6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合 (%)
佐藤 順子	東京都多摩市	950	10.31
クロスキャット社員持株会	東京都品川区東品川1丁目2-5 (株)クロスキャット	885	9.60
尾野 貴子	神奈川県川崎市麻生区	777	8.43
牛島 豊	埼玉県越谷市	444	4.82
アキコ イソダ (常任代理人 SMB C日興証券株式会社)	VANCOUVER, BC, CANADA (東京都千代田区丸の内3丁目3-1)	400	4.34
小野田 亜紀	東京都多摩市	362	3.93
大久保 尚子	神奈川県川崎市麻生区	275	2.98
田崎 冬子	石川県金沢市	270	2.93
並木 豊	埼玉県越谷市	267	2.89
橋本 剛	神奈川県横浜市戸塚区	241	2.61
計	—	4,872	52.89

(注) 上記のほか、自己株式が593千株あります。

## (7) 【議決権の状況】

## ① 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 593,400	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,617,000	86,170	—
単元未満株式	普通株式 560	—	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	9,210,960	—	—
総株主の議決権	—	86,170	—

- (注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が4,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数40個が含まれております。
2. 「単元未満株式」の欄には、自己株式94株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社クロスキャット	東京都品川区東品川 一丁目2番5号	593,400	—	593,400	6.44
計	—	593,400	—	593,400	6.44

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当第2四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 新任役員

役名	職名	氏名	生年月日	略歴	任期	所有株式数 (株)	就任年月日
監査役	—	天野忠彦	昭和21年 8月5日	昭和45年4月 富士通(株)入社 平成2年5月 同社特定公共システム統括部第2 システム開発部長 平成6年4月 NTTインターネット(株)第一シ ステム事業部長 平成10年6月 同社取締役 平成17年7月 (株)アイセック代表取締役(現任) 平成25年9月 当社監査役(現任)	(注)2	—	平成25年 9月30日

- (注) 1. 監査役 天野忠彦は、社外監査役であります。  
2. 監査役の任期は、就任の時から平成29年3月期に係る定時株主総会終結の時までであります。

(2) 退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
監査役	—	清水 裕	平成25年9月30日

(3) 役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役 常務執行役員 公共ビジネス事業部担当 兼 法人ビジネス事業部担当 兼 仙台支店担当	取締役 執行役員 公共ビジネス事業部担当 兼 法人ビジネス事業部担当 兼 仙台支店担当	前田 耕司	平成25年7月1日

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

### 3. 四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	424,122	588,484
受取手形及び売掛金	2,196,059	1,726,653
仕掛品	400,964	523,362
繰延税金資産	111,850	106,537
その他	57,394	34,850
貸倒引当金	△1,950	△1,720
流動資産合計	3,188,441	2,978,168
固定資産		
有形固定資産		
建物	183,418	183,695
減価償却累計額	△131,265	△134,993
建物(純額)	52,152	48,701
構築物	7,457	7,457
減価償却累計額	△6,547	△6,615
構築物(純額)	909	842
車両運搬具	8,265	8,265
減価償却累計額	△7,285	△7,525
車両運搬具(純額)	979	739
工具、器具及び備品	102,139	94,182
減価償却累計額	△84,069	△77,605
工具、器具及び備品(純額)	18,069	16,576
土地	32,998	32,998
有形固定資産合計	105,110	99,858
無形固定資産		
ソフトウェア	25,987	57,462
その他	2,791	3,501
無形固定資産合計	28,779	60,963
投資その他の資産		
投資有価証券	130,617	163,399
出資金	10	10
会員権	8,619	8,619
敷金及び保証金	124,360	124,401
役員に対する保険積立金	16,622	17,076
繰延税金資産	151,526	145,758
投資その他の資産合計	431,756	459,266
固定資産合計	565,645	620,088
資産合計	3,754,087	3,598,256

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	482,078	355,599
短期借入金	420,000	520,000
未払法人税等	66,717	29,220
賞与引当金	182,224	208,060
受注損失引当金	38,800	12,600
その他	309,753	258,800
流動負債合計	1,499,572	1,384,281
固定負債		
退職給付引当金	397,711	394,361
資産除去債務	32,948	32,948
長期未払金	21,000	36,097
固定負債合計	451,660	463,407
負債合計	1,951,233	1,847,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	459,237	459,237
資本剰余金	61,191	61,191
利益剰余金	1,410,978	1,358,376
自己株式	△137,036	△137,213
株主資本合計	1,794,369	1,741,591
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,484	8,976
評価・換算差額等合計	8,484	8,976
純資産合計	1,802,853	1,750,568
負債純資産合計	3,754,087	3,598,256

(2) 【四半期損益計算書】  
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,527,079	4,009,374
売上原価	2,900,805	3,458,091
売上総利益	626,274	551,283
販売費及び一般管理費	※ 480,599	※ 500,312
営業利益	145,675	50,970
営業外収益		
受取利息	71	57
受取配当金	2,429	2,454
助成金収入	—	8,435
保険配当金	469	5,832
その他	3,594	2,008
営業外収益合計	6,564	18,787
営業外費用		
支払利息	2,182	2,707
営業外費用合計	2,182	2,707
経常利益	150,057	67,050
特別利益		
受取和解金	2,000	—
特別利益合計	2,000	—
特別損失		
減損損失	10,173	—
有価証券評価損	—	199
特別損失合計	10,173	199
税引前四半期純利益	141,883	66,851
法人税、住民税及び事業税	68,486	22,127
法人税等調整額	△4,365	11,144
法人税等合計	64,120	33,271
四半期純利益	77,762	33,579

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	141,883	66,851
減価償却費	21,827	20,750
減損損失	10,173	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△620	△230
賞与引当金の増減額 (△は減少)	21,452	25,836
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,386	△3,350
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△400	△26,200
受取利息及び受取配当金	△2,500	△2,511
支払利息	2,182	2,707
未収入金の増減額 (△は増加)	7,145	2,881
未払金の増減額 (△は減少)	△19,560	△46,237
長期未払金の増減額 (△は減少)	△6,700	15,097
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	199
売上債権の増減額 (△は増加)	454,003	469,405
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△49,828	△122,397
仕入債務の増減額 (△は減少)	30,744	△126,478
その他	△17,100	△12,298
小計	600,088	264,025
利息及び配当金の受取額	2,500	2,511
利息の支払額	△2,210	△2,866
法人税等の支払額	△109,041	△58,463
営業活動によるキャッシュ・フロー	491,337	205,206
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,957	△5,778
無形固定資産の取得による支出	△15,505	△16,114
投資有価証券の取得による支出	△1,943	△32,553
敷金及び保証金の差入による支出	△71	△41
敷金及び保証金の回収による収入	6,082	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,395	△54,486
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30,000	100,000
自己株式の取得による支出	△12	△176
配当金の支払額	△70,873	△86,180
財務活動によるキャッシュ・フロー	△100,885	13,642
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	372,056	164,362
現金及び現金同等物の期首残高	435,278	424,122
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 807,334	※ 588,484

【注記事項】

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表関係)

1. 当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行5行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
当座貸越極度額の総額	1,700,000千円	1,700,000千円
借入実行残高	420,000	520,000
差引額	1,280,000	1,180,000

(四半期損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給料手当	175,003千円	166,986千円
役員報酬	74,985	76,245
賞与引当金繰入額	20,847	21,403
退職給付費用	6,462	5,407
減価償却費	2,885	3,473

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	807,334千円	588,484千円
現金及び現金同等物	807,334	588,484



(株主資本等関係)

I 前第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	70,873	8	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

II 当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	86,180	10	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

当社は、情報サービス事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

当社は、情報サービス事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	8円78銭	3円90銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	77,762	33,579
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	77,762	33,579
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,859	8,617

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月11日

株式会社クロスキャット

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 中 井 新 太 郎 印  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 長 島 拓 也 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社クロスキャットの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第41期事業年度の第2四半期会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社クロスキャットの平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

**【表紙】**

<b>【提出書類】</b>	確認書
<b>【根拠条文】</b>	金融商品取引法第24条の4の8第1項
<b>【提出先】</b>	関東財務局長
<b>【提出日】</b>	平成25年11月12日
<b>【会社名】</b>	株式会社クロスキャット
<b>【英訳名】</b>	CROSS CAT CO.,LTD.
<b>【代表者の役職氏名】</b>	代表取締役社長 井上 貴功
<b>【最高財務責任者の役職氏名】</b>	該当ありません。
<b>【本店の所在の場所】</b>	東京都品川区東品川一丁目2番5号
<b>【縦覧に供する場所】</b>	株式会社東京証券取引所  (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長井上貴功は、当社の第41期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

## 2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。